



童話「はるかなる絆のバトン」のイラスト 作・山口まさよし



小象の「元気」を伝える
生活習慣病防止へ！
市民と医療者の会

15年間の啓発活動

2005年、増え続ける生活習慣病に危機感を抱いた3人の医師が集まり考えました。生活習慣病はその名の通り、食事や運動、睡眠などの毎日の生活パターンがその原因を作ります。この病気で悩む方を減らすためには、発症前の皆さんに正しい知識を持っていただき、病気を予防を働きかけなくてはいけない！という結論に至りました。

こうして始まったNPO法人生活習慣病防止に取り組む市民と医療者の会(愛称・小象の会)は、その後、医師だけでなく薬剤師・栄養士・検査技師などの医療関係者、行政・報道関係などさまざまな人たちや広く市民の参加を得てNPOとしての活動を行って来ました。この機会にその一端をご紹介します。

さまざまな健康情報があふれていました。間違った情報に踊らされて、かえって健康を損なうこともあり得ます。正しい知識を得ていただくための活動として、年2回定期的に小象フォーラムを開催。20年2月で27回目となりました。毎回が「市民のための糖」をテーマに開催し、小象フォーラムを開く。20年2月で27回目となりました。毎回が「市民のための糖」をテーマに開催し、小象フォーラムを開く。20年2月で27回目となりました。毎回が「市民のための糖」をテーマに開催し、小象フォーラムを開く。

発症前に正しい知識を

生活習慣は子どもの時に身につけて、たくさん子どもたちに読んでもらいました。3. 啓発活動
また、『千葉県糖尿病療養指導士/支援士』制度の設立とサポートにも深くかわり制度の普及に努めています。日本肥満学会、プライマリケア学会、千葉大学医学部第二内科例会などで活動の一端を発表。プロ野球千葉ロッテの本拠地ZOZOマリンスタジアムでの市民への啓発活動も行っています。

まだまだたくさんさんの活動を行って頂きましたが、会員になって下さった皆さまの支えがなくては、ここまで継続できませんでした。今後も支援いただけますようお願い致します。
(小象の会 理事 柳澤 葉子)



理事 柳澤 葉子